

新年の
けんこう
2026年
新年号 No.624

広島中央保健生活協同組合
編集部連絡先
〒733-0031 広島市西区観音町16-19
電話(082)-532-1264
FAX(082)-532-1267
アドレス <http://www.hch.coop/>
Facebook 「広島中央保健生活協同組合」

2025年11月30日現在
組合員数 28,902人
出資金 12億0,709万円
発行責任者 生協広報委員会

今年もよろしくお願ひします
新年のご挨拶を申し上げます。

法人理念

ともにいのちを大切にし、
みんなが健康で安心して暮らせる社会をつくります。

取り組み方針

1. 安心・安全な医療・介護・福祉の事業に取り組みます。
2. 協同の力で、安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。
3. 憲法を守り、平和を守る運動に取り組みます。

住所変更手続きのお願い

お引っ越し等でご住所が変わられた際は、お早めに**住所変更のご連絡**を下記問い合わせ先までお願いいたします。また、お知り合いの組合員さんでお引っ越しされた方がいらっしゃいましたら住所変更の**お声かけ**をお願いいたします。同様に、お名前・お電話番号に変更がございましたらお手続きのほどよろしくをお願いいたします。

お問い合わせ先 総務部(TEL:082-292-3179)
組合員活動推進課(TEL:082-532-1264)

掲示板

広島中央保健生活協同組合

子ども食堂 生協わくわくぱーてーいー

【日にち】2026年1月10日(土)
(※次回: 2月14日(土))

どなたでも
参加
できます。

【時 間】10時30分～13時頃
(食事の提供は12時頃から)

【場 所】観音公民館



前月まで掲載していた二次元コードでのお申込が確認できない状況です。
お申込みは【臨時】と記載のある公式LINEアカウントにお願いいたします。

※感染症などの流行状況によっては中止となる場合がございます。
※午前7時の時点で警報が出ている場合は、中止とさせていただきます。
※アレルギー対応はしておりませんので、ご了承ください。

調理・あそびボランティアさん お米・野菜等食材のご提供もお待ちしております(^^) **大募集中!!** お申し込みは☎082-532-1264(組合員活動推進課)まで

いつもお米や食材をご提供いただきありがとうございます!



広島中央保健生協
理事長
コープ草津診療所 所長
福山 慎二

昨年は生協創立70周年、記念行事に多くのみなさまのご参加をいただきありがとうございました。河合よねさんによる原爆詩の朗読をいただき、齋藤紀先生、山下理事、職員から高橋さん、高沖さんと、被爆者医療、地域での組合員活動、職場での頑張りを話しいただきました。山陽高校和太鼓部の力あふれる舞台、森本ケンタトリオの気持ちにしみる演奏に目と耳で聞き入り、

ひとときをみなさんとともにしました。このような催しは、平和で心穏やかでなければ楽しいことは言うまでもありません。世界では、人の命があまりに軽く扱われる戦争が続いています。完全な即時停戦を強く求めます。日本の政治も危ない様相です。田中角栄元首相が、戦争を知らない世代が政治の中枢になった時はとても危ないと言ったらしいですが、昨今の政治の流れはどうでしょうか。隣の国と戦争をする可能性があるとの発言が首相から聞こえてきました。武器輸出三原則、軍事目的のための科学研究を行わないという学術会議の声明、専守防衛、非核三原則までもが揺るぎかねない状況です。戦争はしない、戦争に加盟しない、と敗戦後に確立してきた日本の矜持

はどこに行ったのか、憲法第9条を含めこれらの原則が窮屈でしようがないと考える人たちが、政治の中枢に登場してきています。国家を強くする話はあるにしても、国民一人ひとり、私たち庶民の視点からの話は残念ながら政権からは聞こえてきません。医療介護分野への行政、政治からのしめつけは厳しくなるばかりです。医療機関への受診や介護サービス利用での自己負担増、風邪薬、鎮痛薬、花粉症薬、塗り薬など多くの薬剤を保険から外す乱暴な論議が始まっています。軍事費増はすでに始まっています。10兆円になれば世界で4位の軍事費となります。私たちの考え方とは全く相容れない状況です。広島中央保健生協の医療介護事業は職員の奮闘、組合員のみなさんのご利用をいただき、年度末の予算達成をめざしています。病氣や老いは誰もが避けられないこと、組合員と職員と力をあわせて安心して暮らせる社会をめざし、生協がみなさんの人生で役に立つことを願います。

心の窓

みなさんはACPという言葉をご存じでしょうか？直近で入院経験のある方は医療者から「ACPについてどのよう

に考えていますか」と問われた経験があると思います。ACPとはアドバンス・ケア・プランニングの略で人生

の最終段階における意思決定支援のことを指しています。このACPについて、どの病院も取り組み始めており自

身が所属する部署でも遅ればせながら開始しようとしているところ。先日、研修動画でACPの学習講義を受講し、講師の先生が自分の両親が病気で入院となった際に、ACPを考

える場面、「何ひとつ親が今後どのようにしたいかが全くわからなかった」と自身の経験を講義の中で紹介

されました。講義を聞きながら自分も親が病気でどうなったときにどのようにして欲しいか等の意思決定を今

まで聞いたことがないなどハッとさせられました。いつまでも元気でいて欲しいという思

いはみんな同じだと思えます。ですが、自分も年齢を重ねていくと同時に親も同じように年をとっていく現実があり、今回の講義を聞きながら両親が何を大切にしていたか

新年のご挨拶

明けまして

おめでとう

ございます

福島生協病院
院長
北口 浩

旧年中は、地域のみならずの温かなご支援に支えられ、日々の医療活動を続けることができました。心より感謝申し上げます。

2026年は、診療報酬の改定が予定されており、医療をとりまく環境は大きな転換期を迎えます。物価高騰や人材確保の難しさなど、経営的にも厳しい状況が続いていますが、私たちは「いのちと健康を守る協同の医療」という原点を忘れず、地域にとって必要とされる医療を守り抜く決意です。政府主導で医療の効率化や制度改革が進む中でも、患者さんに寄り添い、一人ひとりの生活を支える医療を実践してまいります。

世界に目を向けると、ウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の緊迫、気候変動による自然災害の頻発など、人々の命と暮ら

となりましたが、20周年の各種記念行事では組合員さんにご協力していただき、楽しい時間をもつことができました。厚く御礼申し上げます。

当院は小規模な病院ではありませんが、慢性期入院医療を中心にして、外来・往診・健診・通所リハビリテーションと手広く医療を行っています。病院機能は維持していくことが大前提ですが、今後の医療制度の変化によっては当院の機能を徐々に変えていくこともあるかもしれません。未来のことは予測不能なことが多いのですが、小さな病院でも果たせる役割を今後も当院は少しずつ積み重ねていくことと思います。これから先の長い年月をかけて、病院を維持しながら変化に対応できるようにしていきたいと思っています。

これからも、地域包括ケアの要として、他の医療機関や介護・福祉施設との連携をさらに深め、誰もが安心して暮らせるまちづくりに力を尽くしてまいります。

本年が、みなさまにとって健やかで穏やかな一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

生協
さえき病院
院長
重本 英司

新しい年2026年を迎えました。生協さえき病院は、昨年創立20周年

に基づき、「誰もが安心して住み続けられる地域づくり」へ向けた取り組みを進めてまいります。

当診療所は、組合員のみならずの温かなご支援に支えられ、日々の診療活動を行っています。心より感謝申し上げます。

2026年は、診療報酬の改定が予定されており、医療をとりまく環境は大きな転換期を迎えます。物価高騰や人材確保の難しさなど、経営的にも厳しい状況が続いていますが、私たちは「いのちと健康を守る協同の医療」という原点を忘れず、地域にとって必要とされる医療を守り抜く決意です。政府主導で医療の効率化や制度改革が進む中でも、患者さんに寄り添い、一人ひとりの生活を支える医療を実践してまいります。

コープ五日市
診療所
所長
佐々木 敏哉

年頭にあたり、みなさまに心よりご挨拶申し上げます。

2026年という新たな年を迎えました。社会は、長引く経済の停滞や物価の上昇、格差の拡大、そして依然として予断を許さない感染症など、さまざまな課題に直面しています。こうした時代だからこそ、私たちの原点である「いのちの平等」の理念

では自覚が少ないものの、50代でも約半数、70代では8割以上の方に口腔機能の低下がみられるとされています。

生協歯科ひろしまでは、こうした機能の低下を早期に発見するための「口腔機能低下症検査」を実施しています。50歳以上の方は保険適用で受けられますので、ぜひご相談ください。

生協
歯科ひろしま
所長
高橋 秀爾

旧年中は、組合員のみならずの温かなご支援に支えられ、日々の診療活動を行っています。心より感謝申し上げます。

2026年は、物価高や人手不足、災害への備えなど、私たちの暮らしを取り巻く環境がいっそう厳しくなることが予想されます。そのような時代だからこそ、地域で支え合い、助け合う力がより一層求められています。

さてみなさん、「オーラルフレイル」という言葉をご存じでしょうか。オーラルフレイルとは、噛む・飲み込む・話すなどの「お口の機能」が少しずつ低下していく状態を指します。お口の機能が低下すると、要介護や死亡のリスクが約2倍に高まるという報告もあります。初期段階

では自覚が少ないものの、50代でも約半数、70代では8割以上の方に口腔機能の低下がみられるとされています。

生協歯科ひろしまでは、こうした機能の低下を早期に発見するための「口腔機能低下症検査」を実施しています。50歳以上の方は保険適用で受けられますので、ぜひご相談ください。

生協
さえき歯科
所長
星 正浩

昨年6月、生協さえき歯科は開設から20周年を迎えました。これまで多くの患者さま、組合員のみならず、そして職員に支えられて歩んでこられたことに、改めて深く感謝申し上げます。

2026年は、物価高や人手不足、災害への備えなど、私たちの暮らしを取り巻く環境がいっそう厳しくなることが予想されます。そのような時代だからこそ、地域で支え合い、助け合う力がより一層求められています。

民医連が掲げる「いのちとくらしを守る医療」の理念を胸に、誰もが安心して受診でき、気軽に相談できる歯科づくりをめざしてまいります。お口の健康は全身の健康の入口です。食・食べる喜び、話す楽しみ、笑う力を大切に、

これからも住み慣れたまちで笑顔で暮らせるよう、職員一同力を合わせて歩みます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

生協
小児科ひろしま
管理者
北村 佳子

2026年、みなさまいかがお過ごしですか。昨年は、久しぶりにりんご病の流行がありました。水ぼうそうやおたふくかぜも散見されましたが、予防接種のおかげで、みなさん軽症で終わり、流行にもならず一安心でした。

そんな予防接種ですが、コロナ後から、怖いから接種しないと言われる方がふえている印象です。もちろん、どんな薬でも絶対大丈夫とはいえません。

ただ、ワクチンがない時代には、子どもたちがその病気で亡くなったり、後遺症が残ったり…と悲しい・悔しい思いをしてきました。ワクチンが開発されてみんなが接種することで、流行しなくなり、その病気に罹らない、もしくは軽症ですむようになり、「そんな病気聞いたことない」といえるくらい平和な時代になりました。しかし、人の移動が激しいこの時代、予防接種をする人が減ると、また悲しい思いをする人がふえるのでは…と心

配しています。2026年、今一度、予防接種について考えてみてはいかがでしょうか。

介護事業部
部長
高橋 陽子

介護分野では高齢化が進行する中、介護人材不足、介護職員の高齢化が問題となっており、広島中央保健生協の介護事業も例外ではありません。

そんな中、訪問、通い、泊まりで在宅生活を24時間支えるサービス看護小規模多機能が開所し1年8カ月経過しました。初めての事業に戸惑いながらも、「生協10の基本ケア®」を学びながら形を作っていくことができました。

介護事業では定期巡回随時対応型訪問介護看護や看護小規模多機能のように24時間365日対応可能な柔軟性を持つ地域密着事業に力を入れ、住み慣れた地域で安心して暮らせるように取り組みをすすめています。

また、生協ひろしまとは、地域の組合員を生協で支えていけるよう事業間連携を深めているところです。持続可能なサービスに形を変えながら、地域の暮らしを支えてまいります。本年もよろしくお願いたします。

広島中央保健生協のバトンを次の世代へ

～生協創立70周年記念行事～

2025年11月8日(土) 14:00～17:00に広島県民文化センターで、生協創立70周年記念行事「つなげよう平和を、とどけよう世界へ」が開かれました。組合員と職員、地域や関係団体などにチケット購入のお願いをし、当日は460名ほどの来場がありました。

70周年記念事業実行委員会は1年前の7月から準備を開始しました。イベントの企画・運営は初めてで戸惑いもありましたが、毎日にぎやかな会議で1つ1つ確認しながら進めました。迎えた当日、本番では迫力満点の和太鼓、心を揺さぶる原爆詩の朗読に続いて、元福島生協

病院院長の齋藤紀先生の講演を中心とした職員と組合員のパネルディスカッションがありました。最後は森本ケンタトリオさんのすてきなミニコンサートで終わりました。私たちは会の運営でゆっくり観賞することはできなかったのですが、「よかったよ」などの感想をいただきうれしく思っています。

この記念行事の目的は、生協の被爆者医療の歴史を知り、それを若い世代に伝えていくことと、70周年の喜びをみんなで分かち合うことでしたが、多くの方の協力でこれらを達成することができたのではないのでしょうか。70周年は偉大な先輩方が拓いてこられた生協の歴史の通過点です。今回の経験と多くの学びを活かし次へとつないでいきたいと思います。

記・生協70周年記念事業実行委員会事務局
看護部長 浜田 望

山陽高校和太鼓部



開会のあいさつ



田中敬子専務理事

パネルディスカッション



閉会のあいさつ



竹本みゆきリハビリテーション科部長

記念グッズの販売



原爆詩の朗読



河合よねさん

森本ケンタトリオ



健康づくり委員会主催

人生100年時代を元気に過ごすために！ 「フレイル」について学ぼう！

2025年10月14日(火)、西区地域支えあい課との共催企画として、「人生100年時代を元気に過ごすために！『フレイル』について学ぼう！」の学習会を開催しました。参加者は職員を含めて36名でした。

講師は、がんばれ!!カープ ひろしま百歳体操にもご参加されている佐藤優子理学療法士でした。「フレイル」や、「サルコペニア」とは何?というお話から始まり、元気に過ごすために、筋肉の量を保つように努力することがとても大切だ、ということをお話いただきました。途中で、両手指で輪っかを作ってふくらはぎの太さを測る「指輪っかテスト」や、フレイルの兆候があるか確かめるための「イレブンチェック」も実施して、参加された方は、「思ったよりよかったかもしれん!」「よくないかも…」などお隣の席同士でお話しておられました。

最後に、人と人との「つながり」を持つことが重要だというお話をいただきました。人との交流が週一回以下になると健康リスクが発生し、あまり笑わない人は脳卒中のリスクが1.6倍に増加するそうです。つながりを持つことこそが健康寿命の延伸につながると教えていただきました。

フレイルに関して、一段と詳しくなれてよかったという感想をたくさんの方にいただきました。今日学んだことを、ぜひ周りに広めて、一緒に班会のよさについてもお伝えしていきたいです。



さんの方にいただきました。今日学んだことを、ぜひ周りに広めて、一緒に班会のよさについてもお伝えしていきたいです。

5ページ
の答え

① いまさら

「ぼん(盆)」と思われた方!よく見ると
かんむりが分ではなく今なんです!

② ニトリ

へんの耳の中の「ニ」が
「ト」にいるから…!

機関紙「けんこう」手配りさん募集

毎月届く機関紙「けんこう」や支部ニュースは、地域の組合員さんによって配布されています。現在、支部では、下記の地域で新たに手配りにご協力いただける方を募集しています。部数は少ない数でも大歓迎です。

ご協力いただける方、詳しく聞いてみたい方は組合員活動推進課までお気軽にご連絡ください。



手配り募集地域

五日市支部 三宅4丁目、坪井1丁目 **廿日市支部** 佐方1～2丁目、阿品台1～3丁目、陽光台、城内1丁目 **湯来支部** 葛原、白砂 **八幡東支部** 八幡東1丁目7番～16番、五日市町石内 **中広支部** 中広3丁目 **庚午支部** 庚午中4丁目 **井口・鈴が峰支部** 井口1～4丁目、井口台1～4丁目 **横川・三篠支部** 楠木町2・3丁目 **観音・天満支部** 南観音、南観音町1～8丁目 **己斐上支部** 己斐東1丁目、己斐上6丁目 **中区南支部** 竹屋町、富士見町、鶴見町、宝町、昭和町 **中区北支部** 東白島町、白島中町、白島九軒町 **吉島** 吉島東1丁目 **南区支部** 宇品西1・2丁目 **南区東支部** 仁保1～3丁目 **東区南支部** 愛宕町、東蟹屋町、若草町、大須賀町、上大須賀町、二葉の里 **東区北支部** 馬木5・6・9丁目、福田 **安芸東支部** 中野7丁目、瀬野川団地、瀬野地域 **安芸府中支部** 浜田、浜田本町、茂陰、石井城、城ヶ丘、桜ヶ丘、瀬戸ハイム1～3丁目、本町、宮の町、山田、清水ヶ丘、柳ヶ丘、桃山、青崎中・東

「手配り
援助金」
あります

散歩のついでに

地域の
つながりづくりに

連絡先

広島中央保健生協 組合員活動推進課
TEL 082-532-1264



2025年11月現在です。
急な医師の交代で変更もあり得ますので、ご了承ください。
※前回から変更している部分は **網掛け** で表示しています。 **(2025年12月から)**

①広島中央保健生活協同組合 本部・総務部 082-292-3179(出資金取扱い窓口) ②地域包括ケア部 082-532-1264(組合員活動関連問い合わせ窓口)

せーの行動 ～暑さに負けず、いっせい訪問行動スタート!～

今年度の「せーの行動」は福島生協病院、生協さえき病院の周辺を10月1日(水)～10月7日(火)の期間で実施しました。10月に入っても暑い日が続いていましたが、暑さに負けず、生協強化月間を盛り上げるべく、職員と地域組合員さんが協同となって取り組みました。

福島生協病院周辺:合計 252軒訪問、97名対話

初めて訪問に参加する職員も多かったため、経験豊富な地域組合員の方とペアを組んでもらい、安心して活動に取り組めるよう工夫しました。

福島生協病院が近いこともあり、訪問先には病院をご利用されている方も多くおられました。また、生協けんこうプラザの班会に参加されている方からは「明日の班会に行って、増資もするよ」といったうれしいお言葉もいただき、参加者一同元気をいただきました。

今後も地域とのつながりを大切にしながら、事業所の利用促進や組合員の拡大につなげていきたいと考えています。



生協さえき病院周辺:合計 33軒訪問、26名対話

夕方の訪問で、在宅率が高かったです。病院周辺での訪問ということで、「生協さえき病院をいつも利用しているよ」という方や、「待合の写真を見るためによっているよ」というお話をお伺いすることができました。10月9日の生協さえき病院でのミニコンサートのお誘いや、増資、署名のお願いをさせていただきました。

ある方は、組合員さんご本人がずいぶん前に亡くなられており、息子さんは生協さえき病院を利用しているということで、名義変更のお願いをさせていただきました。一度の訪問だけではなかなか難しい面もあるので、支部に情報をつなげて、継続的に働きかけていくことが重要だと考えます。

病院のよさ、医療生協のよさを伝えて、事業所利用、医療生協への加入につなげていきたいです。



★せーの行動後も、11月末まで各支部・事業所で訪問行動に取り組んでいます!

理事会社保・平和委員会主催 公開学習会

いっしょに考えてみましょう

2025年9月の社保公開学習会は9月26日(金)に、いつもの学習会とはちょっと違った内容で行われました。どなたかに「講師」をお願いし、学習会のテーマに即したお話を聞きながらの学習ではなく、参加者の率直な疑問、意見の出し合いを通じて、それぞれが学び合い、考え合おうという企画でした。設定されたテーマは、「いっしょに考えてみませんか、私たちの今、そして明日を」で、元中国新聞記者の難波健治さんに「話題提供」をお願いしました。

9月26日の学習会には、18名が参加。難波さんから「みなさんが最近気になっていることはありませんか」と問いかけられるとさっそく3名の手があがりました。「自民党の裏金問題が新聞に大きく載っていた」「国会議員って、本気で国民を守る気があるんだろうか」「JICAのホームタウンの動きに反発するネットの動きが気になる」。難波さんは、出されたそれぞれの「気になっていること」にコメントをはさみながら①暑さが異常ですよ②メスを入れんといけんことがありますよね③今年は2025年、80年、100年と節目の話題があります…と新聞記事なども紹介しながら多彩な話題を提供。お話を聞

きながら、それぞれの問題意識に沿って真剣に考えを深めている様子が印象的でした。

難波さんからはいろいろな話題もふまえ、最後に「戦後80年、我々は何をするのか」と問いかけながら、特に憲法第9条と日本の平和をめぐる動きにふれて「まとめ的な」お話をいただきました。また、「治安維持法制定100年」を扱った毎日新聞(2025/9/25付)、『シスター“フット”エンパシー』(ブレイディみかこ;著)なども紹介されました。参加者からは、「刺激的な話を聞くことができた。こうして考えながら、いろいろな人の意見を聞く機会も大切だと思った」などの感想が寄せられました。



コープ のびのびクラブ ハロウィンパーティーを開催

毎年開催しているハロウィンパーティーを、2025年10月22日(水)に実施しました。ひまわり保育園の先生たちが仮装の衣装を準備くださり、みんなで変身!ハロウィンのペーパーシアターや、おばけの歌に合わせたダンスを楽しみました。妖精の羽や魔女の帽子をつけた子どもたちのかわいい姿に、お母さんたちもうれしそうにされていました。

これからも、地域の子育て世代のみなさんに喜んでいただけるイベント等を企画していきたいです。



みんなで脳トレを楽しんでいます!

佐伯支部 頭の体操班

私たちの頭の体操班は、毎月1回3時間行っています。メンバーは70歳代～90歳代、男女各2名の計4名です。

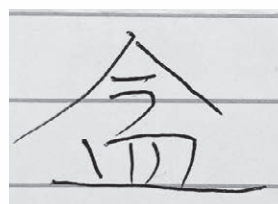
問題は中級程度で、A4判5～6枚。歴史、人物、常識、まちがい探し等あらゆる範囲からです。開始から2時間は無言で問題と格闘しながら頭をひねる時間です。

次の答え合わせの1時間は、正解にはホッとし、間違っていたり不正解のときはお互いに答えを求めて話し合いながら正解にたどりつきます。

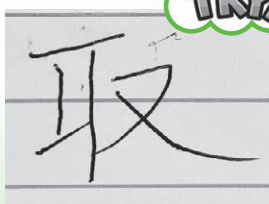
今月の1枚は1月～12月の旧暦名を問うものでしたが、意外にもたついで「昔はスラスラ言えたのにね」「だから脳トレなのよ」などお喋りも楽しく程よく疲れて3時間を終了します。

少人数ながら同好の人たちと有意義に過ごす毎月の班会をとても楽しみにしている私たちです。班会のために、毎回さまざまな出題を用意してくださる班長さんの努力に心から感謝します。

問題 何と読むのでしょうか?



ヒント:今更何を〜!!



ヒント:大手量販店!!



組合員の輪

健康チェック班を発足!

～福島支部～

2025年10月21日(火)、新たに発足した「健康チェック班」の第1回を開催しました。

当日は職員含めて6名が参加し、体内のカロテノイドレベルを測定する「カチックチェック」を行いました。

カロテノイドとは、色の濃い野菜や果物に多く含まれる植物由来の抗酸化成分です。体調維持や健康づくりに役立つとされ、体内での十分な数値は7.0以上が目安とされています。

しかし、今回の参加者のうち4名が6.0未満という結果となり、野菜摂取の大切さを改めて考える機会となりました。

野菜の1日あたりの摂取目標量は350g。家族分となると、さらに多くの量を意識的に確保する必要があります。参加者のみなさんからは、「もっと野菜を意識してとりたい」という前向きな声も多く聞かれました。

カチックチェックは年3回の実施を予定しています。次回は今回よりよい結果となるよう、日々の食生活を見直しながら取り組んでいきたいと思ひます。

ご自身の野菜摂取量が気になる方は、ぜひ次回の「健康チェック班」にご参加ください!



防災カフェ班を発足!!

～牛田支部～

2025年3月に開催した防災の学習会から、これを班会にして欲しいという要望がありました。防災士の資格をもっている3名の方を中心に、田方支部の防災カフェ班の方にもご協力をいただきながら、満を持して10月31日(金)に第1回防災カフェ班会を開催しました。

あいにくの雨で参加者が8名でしたが、非常時のトイレについてや、非常食の試食を行い、意見、感想を出し合いました。

班会開催前の訪問行動で、参加のお誘いをした方が参加くださり嬉しかったです。参加したかったのだが急要があつて参加できなかった方もいらっしゃる、次回は参加していただけることになりました。少しずつ内容を充実させていきたいと思っています。組合員のご参加お待ちしております!



俳句・山柳

へお題!! おせち

三日月はおせちに飽きてカレー食べ
からたち
鮮やかな広告おせち 目の保養
ちづ丸
節約でおせちのお重一段だけ
百合
おせちを囲む家族の幸も噛みしめて
井口のマゴえもん
おせちの意味知らずに食べる乙世代
花子
おせち食べ二重腹から四段に
吹矢のフーさん

お知らせ 選考を円滑に行うため、投稿数は一人5句までとさせていただきます。

*採用された方には図書カードをプレゼントします。
ぜひご住所をお知らせくださいませ。 広報委員会

子育て広場 コープ

2026年1月の予定

のびのびクラブ

日時 毎週水曜日10時～12時

場所 生協けんこうプラザ5階

2026年1月 「のびのび」行事

※企画内容は都合により変更となる場合があります。

第1週 7日 お休み

第2週 14日 あっこ先生とリトミック♪

第3週 21日 わくわく絵本の世界

第4週 28日 節分

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては中止とさせていただきます。

子育て広場

コープ

ぴよぴよクラブ

日時 2026年1月23日(金) 13時30分～15時 ※毎月第4金曜日

場所 生協けんこうプラザ5階

おたより募集

川柳、俳句、短歌

2026年3月号の川柳のお題は「わらび」(締め切りは2026年1月15日)です。2026年4月号の川柳のお題は「新茶」(締め切りは2026年2月14日)です。自由演題でも結構です。その他、「私の家族(ペット)」「私のとっておきの一枚」にまつわるエピソードや思い出を募集しています。写真と簡単な紹介文を編集部までお送りください。

宛先

733-0031 広島市西区観音町16-19-4F
広島中央保健生協 組合員活動推進課 けんこう編集係
E-mail:soshikibu@hch.coop
TEL(082)-532-1264 FAX(082)-532-1267

たすけあいの会 ボランティアさん大募集!

ひとり暮らし、近所に知り合いが少なく困ったことを相談できる先がなくて悩んでいる方のために「たすけあいの会」があります。

たすけあい活動の内容は、掃除、買い物、ゴミ出し、通院・外出支援、電球交換、話し相手などです。

このような困ったことを少しでもお手伝いできる方を募集しています。

「〇〇の活動はできそう」など、具体的な申し込み大歓迎です。



ご近所に、あなたの助けを待っている人がいます

申し込み・
問い合わせ先

地域包括ケア部 まちづくり推進課
たすけあいの会 電話082-532-1264

理事会より(2025年10月～11月理事会報告)

●法人全体の2025年10月の経営は、補助金収入もあり単月最高の5,300万円の黒字となり、累計経常利益が昨年度より2カ月早く2億円超えとなりました。あんしんセンターコープ五日市の看多機・定巡の利用者がふえています。

●「いのちの章典」実践交流集会を2026年1月30日(金)13:30～16:00に生協けんこうプラザ5階で開催します。今回のテーマは「生協の介護を広め、その人らしい生き方を支えます～元気で楽しく生きようよ～」です。在宅診療についての講演もあります。ぜひご参加ください。